

# たいせつな時間は、写真の中で生きている。

## 素晴らしき仲間たちとの青春の記録



昭和33年、「トキワ荘」の忘年会でプレゼント交換。上段左から石ノ森章太郎、赤塚不二夫、つのだじろう、下段左から寺田ヒロオ、藤子不二雄A、藤子・F・不二雄、鈴木伸一。

金もない、仕事もない、将来の保障もない。それなのに、写真のみんなは無邪気で楽しそうで、何ていきいきしてるんだらう。明日のない不安よりも、漫画にかける夢の方が大きかったからだ。

昭和29年、手塚治虫先生にあって、漫画家を目指して上京したボクと藤本弘（藤子・F・不二雄）は、「トキワ荘」の住人になった。そこには同じ志を持つ仲間たちがいて、まるで合宿所暮らしのような日々だった。昼間から集まっては毎日のように宴会を繰り返す。大皿に盛ったキャベツ炒めをつまみに、「チューダー」と名付けた焼酎のサイダー割りを飲みながら、駄ジャレ混じりの雑談が夜更けまで続く。一階の住人がほろほろの柄で天井を叩き、「うるさい

ぞー」というのがお開きの合図で、それぞれが四畳半の部屋にもどって漫画を描いた。

あるとき赤塚不二夫が、「オレは売れないから漫画家をやめてキャバレーのボーイになる！」と言いつつ出た。すると、どう工面したのか向かいの部屋の寺さん（寺田ヒロオ）が、「この金がなくならまでやめるな」と5万円を出した。当時としては、半年は優に暮らせる大金だ。それから3ヶ月もたないうちに、赤塚のギャグ漫画の人氣が沸騰した。

ボクも寺さんには世話になったが、今はもう、この写真の中でしか会えない。ボクは、この写真を見るたびに、ある時期、ある時間をともに生きた、素晴らしき仲間たちとの青春の日々を思い出す。

## 藤子不二雄A



Profile

●Fujiko Fujio A  
漫画家。昭和9年生まれ。中学時代から藤本弘（藤子・F・不二雄）と漫画の合作をはじめ、「藤子不二雄」を二人で一人のペンネームとする。昭和29年上京、「トキワ荘」に入居。石ノ森章太郎、赤塚不二夫らと新漫画家を結成。昭和62年コンビを解消し、藤子不二雄Aとして新たなスタートを切る。主な作品に「オバケのQ太郎」（共作）「忍者ハットリくん」「笑わせろすまん」などがある。